

2019年11月の環境活動報告

食品ロス削減に取り組みましょう！

日本国内の食品ロスは年間643万トンもあり、
国民一人当たりで換算すると、"お茶碗約1杯分もの食べもの"が毎日捨てられていることに！
食品ロスの約半数の352万トンは事業者から出ており、
そのうち外食産業を救う新たな仕組みをピックアップしました。

フードシェアリング サービス ～三者がハッピーになれる「三方よし」の仕組み～

飲食・小売店で余ってしまいそうな食品を安価に購入することができます

お店の余剰をサイトに掲載
予測よりお客様が来なかった
予約がキャンセルになった
売れ残った、など



買い手が商品をチェック、サ
イトで決済
お店に取りに行くだけ。
購入することをレスキュー
する、と呼んでいます。

ありがとう
助かったわ！



"TABETE", "Reduce Go"などのサービスが立ち上がりました。

東京駅「グランスタ」「グランスタ丸の内」では食品ロス削減売り切りを狙い、8月からTABETE導入し、パン詰め合わせやお惣菜を販売しています。

賞味期限間近のものをただ安く買うだけではなく、"食品ロスを減らす"、"社会貢献している"意識により、サービスが広がっていくのではと思います。私もぜひ使ってみようと思います！

お店よし

- ・廃棄が削減される！
- ・売上がアップする！
- ・注目度がアップする！



食べる人よし

- ・社会貢献できる！
- ・新しいお店を発見できる！
- ・おいしい食事をお得に購入できる！



地球によし

- ・食品ロスが削減できる！



三方よし！

11月エコアクション活動実績

	内容	目標	11月実績	達成度合	判定	特記事項
節電大臣	前年平均値維持	1,968 kwh/月	1,206 kwh	163.2%	達成	省エネ省資源が未達成
節水大臣	前年平均値維持	11.2 m ³ /月	7.731 m ³	145.4%	達成	
ごみ処理大臣	ゴミ総排出量削減 目標80Kg以下	77.85 Kg/月	48.67 Kg	160.0%	達成	
グリーン購入大臣	グリーン購入品推進80%以上	80 %/月	100.0 %	125.0%	達成	
製品サービス大臣	省エネ省資源化の提案	1 件/月	0 件	0.0%	未達成	